

2023年7月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が一段と回復し、消費関連が回復している。一方、雇用情勢は横ばい、生産活動、投資関連が弱含み、畜産関連が低迷している。足元では、物価上昇の影響がみられるものの、コロナ5類引き下げによる社会経済活動再開の動きが続き、全体として回復傾向が強まっている。

生産活動は、4月の鉱工業生産指数が10か月連続で前年を下回った。食料品はほぼ前年並みで、窯業・土石製品、電子部品・デバイスが前年を下回った。

畜産関連では、6月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を下回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、5月の家電大型専門店が前年を下回り、6月の軽自動車届出台数は前年をやや下回ったものの、5月の百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、乗用車新車登録台数は前年を上回った。

観光関連では、6月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、6か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、5月の有効求人倍率は前月と同水準の1.21倍となった。

【生産活動】... 弱含み

電子部品関連は、5G関連は堅調だが、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きが続いている。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

5月の焼酎生産は、6か月ぶりに前年を下回り、出荷量は2か月ぶりに前年を上回った。

4月のかつお節生産は、7か月連続で前年を上回った。

6月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが4か月連続で前年を上回ったものの、民間工事向けは2か月ぶりに前年を下回り、全体ではほぼ前年並みとなった。

6月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 低迷

6月の子牛の出荷頭数、価格ともに前年を下回った。6月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4は7.7%減と8か月連続で前年を下回り、去勢A3は9.3%減と10か月連続で前年を下回った。5月の枝肉生産量は前年を上回った。

6月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は7.0%増と6か月連続で前年を上回った。5月の枝肉生産量は前年をやや下回った。

6月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は19.8%増と12か月連続で前年を上回り、むね肉は26.0%増と41か月連続で前年を上回った。6月の処理羽数はほぼ前年並みとなった。

6月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は63.8%増と10か月連続で前年を上回った。5月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 回復

5月の百貨店・スーパー販売は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では20か月連続で前年を上回った。

5月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

5月の乗用車新車登録台数は、5か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は45.0%増、小型車が9.2%増となった。

6月の軽自動車届出台数は前年をやや下回った。

【観光関連】... 一段と回復

6月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、全国旅行支援や、コロナ5類引き下げなどで、6か月連続で前年を上回った。関東、関西、中部、中国地方、台湾、香港などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加した。

鹿児島地区は、関東、台湾、香港などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、11か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東、関西、中部、台湾などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、6か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東、関西、中部、九州、台湾などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、6か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区、奄美地区ともに6か月連続で前年を上回った。

6月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... 弱含み

6月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

5月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

5月の新設住宅着工戸数は、貸家、分譲は前年を上回ったものの、持家が前年を下回り、全体では3か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、20.5%減となった。

5月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、5か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

5月の輸出額は、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回ったものの、再輸出品、パルプ及び古紙が前年を下回り、全体では87.2%減と3か月連続で前年を下回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で6.1%増と2か月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】... 横ばい

5月の有効求人倍率は前月と同水準の1.21倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸小売は前年を上回り、製造業、建設業、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った

5月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.4%上回った。

【企業倒産】… 倒産件数は前年を上回った

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が7件で前年同月（4件）を上回った。また負債総額は10億55百万円で前年同月（100億96百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（Tel 099-225-7491）